

2020 年度
事業報告書

公益財団法人似鳥文化財団

1. 公益目的事業

【事業の趣旨】

歴史書類、美術品、美術工芸品、絵画、古建造物及び文化関係資料(以下「美術品等」という)の収集、保管、修繕、展示の業務を実施することにより、文化、芸術、伝統等の発展や継承に寄与するとともに、国内・海外の人々に対する文化、芸術及び歴史に関する理解の増進に貢献することを目的とする。

今年度、本事業が公益性の高い取り組みと認められ、10月より、株式会社ニトリによる運営から、当財団の公益事業として運営を開始することとなった。

運営の移管後も、これまでと同様の理念に基づき、収蔵作品の調査研究を行い、常設展示に加え収蔵作品による企画展3回とピック展2回を開催。収蔵作品についてホームページなどにより紹介したほか、館外の教育活動への協力を行った。また、歴史的建造物及び収蔵作品の維持管理につとめた。

【施設の概要】

小樽芸術村は、似鳥美術館、ステンドグラス美術館、旧三井銀行小樽支店の3施設から構成される。似鳥美術館は、旧北海道拓殖銀行小樽支店(小樽市指定歴史的建造物)を活用した展示施設で、地上4階地下1階。ステンドグラス美術館は、旧高橋倉庫と旧荒田商会(いずれも小樽市指定歴史的建造物)の2階建ての2棟からなり、旧高橋倉庫は展示施設、旧荒田商会は受付やミュージアムショップなどとして使用している。旧三井銀行小樽支店は、地上2階地下1階と1階建ての付属棟からなる。これら3施設に囲まれた位置には、職員用駐車場と中庭があり、ロールスロイスを格納する車庫1件と彫刻作品3点が設置されている。中庭は、小樽市内中支部では希少な緑地であり、近隣住民や観光客、遠足の子どもの憩いの場となっている。

【事業の概要】

ア. 美術品等の収集、保管、修繕、展示

(1) 美術品等の収集

① 美術品等の購入

本年度の購入はなかった

② 美術品等の寄贈受入



本年度、株式会社ニトリより、運営費用として12億円の寄付金のほか、小樽芸術村の土地建物(付帯設備含む)、ステンドグラス及び関連資料、下記絵画5点の寄贈を受けた。

- ・ 岸田劉生 《静物(リーチの茶碗と果物)》(左写真)
- ・ オーギュスト・ルノワール 《二人のセイレーン》
- ・ 藤田嗣治 《カフェにて》
- ・ 横山大観 《朝暉》
- ・ 伊藤若冲 《雪柳雄鶏図》

また、協和総合管理株式会社より、照明スタンドレプリカー対(旧三井銀行小樽支店正面玄関用)の寄贈を受けた。

③ 美術品等の寄託受入

本年度、1,384点(組)の美術品等について寄託を受けた

(2) 保管・修繕

収蔵美術作品等の保管のため、ステンドグラス美術館では、随時ステンドグラスの状態を点検し、光漏れ箇所のパテ詰め等のメンテナンスを行った。また、開館時に設置した高さ 30 センチの据え置き型の結界を、高さ 48 センチの固定式のものに交換し、作品の安全確保に努めた。

旧三井銀行小樽支店では、地下金庫の金属部分の錆取りを小樽市総合博物館職員より技術指導を受けながら実施した。また、正面入口付近の躯体内部で漏水がみられたため、阿部建設による調査を行った。

似鳥美術館では、以下の美術品の修繕等を実施した。

上村松園 《桜可里図》	1 幅	株式会社得水軒
上村松園 《夕涼之図》	1 幅	株式会社得水軒
上村松園 《杜鵑一声圖》	1 幅	株式会社得水軒
小林古径 《浮舟》	1 幅	株式会社得水軒
東洲斎写楽《市川男女蔵の奴一平》ほか 浮世絵マッピング	155 点	株式会社松山額縁店

(3) 展示

① 常設展示

ステンドグラス美術館では、ステンドグラス 98 点のほか、工程を示すパネルや道具などを展示している。2020 年度は、2 階展示室にデジタルサイネージ 1 台を追加し、制作過程を示す映像の上映を開始した。



旧三井銀行小樽支店では、本館の各所に設置してある解説パネルを、より理解しやすい内容に書き改め、体裁を統一したものと順次交換した。また、2019 年度に旧三井銀行小樽支店ファンクラブと共同で制作した解説シート「なるほどカード」を引き続き館内に設置した。11 月には、正面玄関前の階段部分に、照明スタンドのレプリカ一對を設置した。(左写真)

似鳥美術館では、新収蔵作品の収蔵時や季節毎に数点ずつ作品の入れ替えを行った。開館以来2階で常設展示していた「棟方志功の世界」は 12 月 8 日で展示を終了し、以後は「トピック展示」のコーナーとして使用することとした。地下1階の「アールヌーヴォー・アールデコ グラスギャラリー」では、12 月 9 日に吊灯の交換を含め展示のリニューアルを行った。

3 館の開館時間は、5 月から 10 月は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとし、11 月から 4 月は、午前 10 時から午後 4 時までとした。11 月から 4 月の毎週水曜日と年末年始、および新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館(4 月 25 日～5 月 25 日まで計 31 日間)と、テレビ東京の人気番組「開運！なんでも鑑定団(以下、鑑定団)」収録のため臨時休館(3 月 15 日、16 日の 2 日間)を除く毎日開館した。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、3 月 6 日～3 月 19 日まで休館日を除く計 12 日間、開館延長時間を午前 11 時から午後 3 時まで短縮して開館した。

入館料は、原則として 3 館共通券が一般 2,000 円、学生 1,500 円、高校生 1,000 円とした。単館券は、似鳥美術館が、一般 1,500 円、学生 1,000 円、高校生 700 円とした。ステンドグラス美術館は、一般 700 円、学生 500 円、高校生 400 円とした。旧三井銀行小樽支店は、一般 500 円、学生 300 円、高校生 200 円とした。いずれの場合も、中学生以下および障がい者手帳の提示者と同伴 1 名は無料とした。

2020 年度は、開館日数計 303 日間に、来館者 68,443 名(うち有料入館者 34,672 名)を迎えた。

② 企画展

旧三井銀行小樽支店別棟では、「小樽芸術村浮世絵展 2020」を4期に分けて開催した。当初、第一期の展示は4月25日からの開催を予定していたが、コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発出に伴い臨時休館したため、宣言解除後の5月26日から開催した。第1期と第3期の期間中は、友の会会員を無料で招待した。

- ・ 「生誕 260 周年 今こそ HOKUSAI 江戸の人気絵師大集合」
2020年5月26日(火)～6月21日(日) 展示日数 27 日間
入館者 834 名(有料 571 名)
- ・ 「東海道五十三次と東海道五十三對」
2020年6月23日(火)～7月21日(火) 展示日数 29 日間
入館者 859 名(有料 744 名)
- ・ 「びっくり仰天！浮世絵ワールド～歌川国芳を中心に～」
2020年7月23日(木・祝)～9月1日(火) 展示日数 41 日間
入館者 4,057 名(有料 3,480 名)
- ・ 「川瀬巴水 吉田博と旅する日本」
2020年9月3日(木)～10月11日(日) 展示日数 39 日間
入館者 5,539 名(有料 4,285 名)



旧三井銀行小樽支店本館では、下記のミニ企画展を開催した。



- ・ 「小樽が『斜陽の町』と呼ばれたころ」 渡廊下
2020年3月6日(金)～4月21日(火) 展示日数 18 日間(4月1日～21日の開館日数)
入館者:193名(有料 151名) (4月1日～21日の入館者数)
※ 監修 石川直章(小樽市総合博物館館長、当館顧問)
- ・ 「小樽市総合博物館コレクション 恵比寿さまと大黒さまの引札展」 第二応接室
2020年12月26日(土)～2021年1月31日(日) 展示日数 29 日間
入館者 503 名(有料 403 名)
※ 共催:旧三井銀行小樽支店ファンクラブ 協力:小樽市総合博物館

似島美術館では、今年度より 2 階展示室の一角で季節や企画展に連動するテーマを設けて開催する「トピック展示」を 12 月から開始、下記の 2 回開催した。



・ 「福よ来い！ 吉祥のかたち」

2020 年 12 月 10 日(木)～2021 年 3 月 2 日(火) 展示日数 69 日間

入館者 1,940 名(有料 1,330 名)

・ 「葛飾北斎特集」

2021 年 3 月 4 日(木)～4 月 27 日(火) 展示日数 24 日(3 月 31 日までの開館日数)

入館者 1,595 名(有料 1,107 名)(3 月 31 日までの入館者数)

企画展及びトピック展は、すべて収蔵作品により構成した。いずれの展示も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となり、作品の選定、運搬、会場構成、展示を行い、出品目録を配布。展示作品には豊富な解説を付し、来館者が理解しやすく、楽しめる展示とすることに努めた。

(4) ミュージアムショップ

各館に設置したミュージアムショップでは、当館の施設、収蔵作品、北海道及び小樽に関連した各種グッズや書籍を取り揃え、来館者のニーズに合った商品の販売活動を展開し、来館者の満足度向上につながるよう努めた。また、地域で制作活動を行うすぐれた作家の作品を展示販売することで、地域作家の育成の場として貢献した。さらに、企画展に合わせて、出品作品をもとにオリジナルポストカードを企画、製作して販売したほか、受託商品を加えてバリエーション豊かな商品構成とし、好評を得た。当館の見どころのひとつであるステンドグラスをもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナルグッズを企画、制作して販売した。このほか、銀鱗荘やニトリ果樹園に商品の販売を委託した。

イ. 美術品等の調査研究

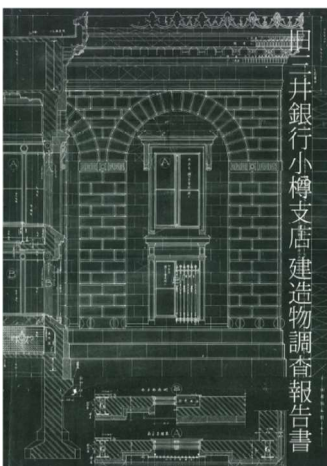
(1) 調査・研究

歴史的建造物や関連資料と、収蔵品を中心とした美術品等の調査・研究を行い、その成果を展示に反映させた。また、顧問の宗本順三氏を中心とした研究に基づき、下記の報告書を出版した。

『旧三井銀行小樽支店 建造物調査報告書』 2020 年 6 月発行 2,000 部

(2) データベース

9 月からワセダシステムの運用が開始され、フォーマットの改善、データの入力、更新、デジタル画像の登録などを行った。特に、複数点組の作品について、個別作品の情報登録を進めた。



(3) 研究資料の整備

上記の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入、収集、整理を行った。

- ① 美術館・博物館の刊行物など 89 冊を受贈した
- ② 展覧会の開催や収蔵作品の研究のため 35 冊の図書を購入した

(4) 学術プロジェクトへの参加

- 2018 年度から 3 年間のプログラムとして実施された「文化庁大学における文化芸術推進事業 北海道大学 学芸員リカレント教育プログラム」に当館学芸員らが受講生または聴講生として参加。以下の関連プログラムに参画した。このプログラムについては、北海道大学大学院文学研究院により「北海道大学学芸員リカレント教育プログラム Report3」としてまとめられ 2021 年 3 月 25 日に発行されている。

山田菜穂 2020 年 10 月 6 日(火)～25 日(日)に北海道大学総合博物館企画展示室で開催された企画展「DISTANCE #学びと距離の物語」の企画、運営に参画

佐藤いず帆 上記展覧会の関連イベントとして 2021 年 11 月 6 日(金)、オンラインで開催された「ミュージアムグッズ・サミット」にゲスト出演した

金澤聡美 プログラムの報告会として 2021 年 2 月 20 日(土)にオンラインで開催されたシンポジウム「ミュージアムの誕生と成長」で、事例報告を行った

(5) 美術品の閲覧

学術機関等からの収蔵品の閲覧申請はなかった。

ウ. 研究会等の開催

(1) 講演会、研究会の開催

新型コロナウイルス感染拡大により、対面の主催事業は開催を自粛した

(2) インターネットによる広報

小樽芸術村の概要や、展覧会、各種講座などの情報発信を行う当館ウェブサイト (<https://www.nitorihd.co.jp/otaru-art-base/>) は、日本語、英語、中国語、韓国語をそれぞれ PC、携帯端末の双方で適正に閲覧できるかたちで運営している。年間のページビュー数(以下 PV 数; Web サイト内のあるページへのアクセスがどの程度あったかを測る指標。ユーザーがブラウザ上で Web ページを表示することに PV 数は 1 つカウント)は 356,989 (月平均 29,750)、ユーザー数は 86,020 名(月平均 7,168 名)である。ユーザーのうち約 98%が日本国内からアクセスしており、約 70%のユーザーが、スマートフォンまたはタブレット端末で閲覧している。

テレビ東京系列で放映中の人気番組「開運!なんでも鑑定団」の特番内で小樽芸術村の特集が放映された 3 月 30 日には、過去最大の 17,840PV 数を記録した。これは、2020 年度の PV 数の約半数、オープン以来の新規ユーザーのうち 1.5%を占める驚異的な数値である。

このほか、当館ウェブサイトのお知らせ欄を活用して次の通り連載を行った。

- 「おうちで小樽芸術村」 緊急事態宣言を受けた臨時休館期間中の 5 月 1 日に開始し、7 月 1 日までのほぼ毎日、50 回にわたり連載。学芸員が中心となって、収蔵作品等のみどころや鑑賞のヒントなどを紹介する記事を執筆し、更新作業を実施した。
- 「今週の 1 点」 上記「おうちで小樽芸術村」の後続企画として、8 月 1 日より年末年始を除く毎週土曜日に連載。年度末までに 34 回掲載した。内容を似鳥美術館の作品解説に絞り、学芸員が執筆、更新作業を実施している。次年度も継続予定である。

(3) プレスリリース

2020 年 12 月迄、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、積極的な発信は自粛した。2021 年初頭から、貴重な作品の収蔵や展覧会の告知を目的とした各種媒体向けのプレスリリースを制作・発信し、各種媒体への告知あるいは記事の掲載を促進した。

(4) ポスター・チラシ、施設案内パンフレット

各館内および掲示板等に展覧会ポスターを掲示し、館内に次回展覧会の告知のチラシと美術館の利用案内パンフレットを常備し、美術館及び展覧会の認知度アップに努めた。館外においては、近隣の観光施設や文化施設、交通機関や公共施設等に展覧会のポスターやチラシを配送するとともに、効果の見込める組織への情報提供を行った。

(5) 内覧会

コロナウイルス感染症拡大防止のため、内覧会は実施しなかった。

(6) 他美術館との協力

- ・ 北海道美術館協会への加盟、北海道教育委員会が推進する「アートギャラリー北海道」への参加などにより、美術館の普及や北海道観光の活性化に努めた。
- ・ 小樽市総合博物館や市立小樽美術館など、地域の博物館・美術館と情報交換や資料の貸借などを行い、地域における文化活動の活性化に努めた。
- ・ 2021 年度開催の展覧会に先立ち、北海道立文学館や神戸市の小磯記念館、福島県柳津町の斎藤清美術館等とのネットワークを構築し、情報交換や調査研究を推進した。

(7) 地域との連携

- ・ 2020 年9月、あらたに小樽市と連携協定を締結した。これまでに北海道立近代美術館、公益財団法人札幌市芸術文化財団、一般社団法人札幌観光協会、一般社団法人小樽観光協会、余市町、仁木町とも連携協定を結んでおり、各種団体との情報交換や観光プランの検討、広報への相互協力などを行った。



- ・ 地域の小中学生の見学の際には、少人数の場合のみ質問への対応などを実施したほか、ワークシートのデータの提供を行うなど、子どもたちの学習への支援を行った。
- ・ 2020 年 12 月 23 日(水)、似鳥美術館において、地域のスポーツ教室の主催者と連携し、未就学児を対象とした鑑賞プログラムを試行的に実施した(写真左)

(8) 有料広告

下記の有料広告を通年で行った。

- ・ JR 新千歳空港コルトン (2019 年度 年間利用客 1,180 万人)
- ・ JR 札幌駅コンコース内アート広告 (2019 年度 年間利用客 7,130 万人)
- ・ JR 小樽駅 ナビタ (2019 年度 年間利用客 660 万人)

(9) 小樽芸術村友の会

「小樽芸術村友の会」は、固定客層の獲得を目的として、2016 年の開館当初に開始した会員組織で、2020 年度末の会員数は 1,168 名である。常設展の入館料(特別展やイベントなどは対象外)および年間パスポートを 20%割引で購入できるほか、各種ご案内の送付を行っている。次年度以降は、会費を有料化し年間パスポートと連動させるなど、機構改革を行うことを前提に検討を進めたい。

2020年度は、コロナ禍で来館者数が激減したため、少しでも多くの方に分散して来館していただけるよう浮世絵展の第1期と第3期の開催期間中を友の会会員の招待期間とし来館を促した。

(10) 画像の貸出

研究者等への画像の貸出しはなかった

(11) 施設の貸与

以下のイベントに施設を貸与し、催事への協力を行った。

年月日		施設名	用途	団体名	人数
2020年	10月17日	ステンドグラス美術館	ブライダル	ブライダルハウス BIBI	18
	10月22日	ステンドグラス美術館	ブライダル	グローバルエージェンツ	6
	11月1日	ステンドグラス美術館	ブライダル	グローバルエージェンツ	96
	11月2日	ステンドグラス美術館	ブライダル	小さな結婚式	6
2021年	2月28日	ステンドグラス美術館	ブライダル	小樽観光協会	46
	3月8日	旧三井銀行小樽支店	ブライダル	グローバルエージェンツ	8
	3月9日	似鳥美術館	ブライダル	グローバルエージェンツ	8

このほか、テレビ東京で放映中の人気番組「開運！なんでも鑑定団」の収録のため、2021年3月15日(月)～17日(水)の3日間にわたり休館し、似鳥美術館の展示を一部変更して収録に協力したほか、旧三井銀行小樽支店別棟を出演者の楽屋として提供した。

2. 処務の概要

ア. 役員に関する事項

2021年3月31日時点の役員

2020年3月31日時点の本財団役員は以下の通りになります。

役職	氏名	
代表理事	似鳥 昭雄	株式会社ニトリホールディングス 代表取締役会長 株式会社ニトリ 代表取締役会長
業務執行理事	似鳥 靖季	公益財団法人似鳥国際奨学財団 理事
理事	吉村 作治	東日本国際大学 教授・学長 早稲田大学 名誉教授
理事	田中 健	那須オルゴール美術館 館長 ケンズインターナショナル株式会社 取締役会長
理事	宗本 順三	株式会社ラウムアソシエイツ一級建築士事務所 代表取締役
理事	志田 政人	掛川ステンドグラス美術館 顧問 アトリエ・ルブラン
評議員	安藤 隆春	株式会社ニトリホールディングス 社外取締役
評議員	森 眞澄	株式会社ニトリ 顧問
評議員	谷口 良一	株式会社パワーズポート 代表取締役
監事	中村 元彦	中村公認会計士事務所 公認会計士

イ. 会議に関する事項

① 理事会

2020年5月14日	第1回理事会	書面決議
2020年6月9日	第2回理事会	東京
2020年9月28日	第3回理事会	書面決議
2020年12月21日	第4回理事会	書面決議
2021年3月23日	第5回理事会	東京

② 評議員会

2020年6月9日	第1回評議員会	東京
-----------	---------	----

事業報告の附属明細書

*2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人法に関する法律施行規則」第34条第3項に規程する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成を省略する。